



令和2年度 水道・下水道事業会計の決算

いつでも安全で安心して利用できる
強靱な上下水道を目指して

決算は9月6日から開会の市議会定例会で審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課 (市庁舎水道棟2階、☎65・4212)



水道事業会計の決算

おいしい水道水を
安定供給するための収支

収益的収支における収入は47億9393万円(前年度比6.2%増)、支出は39億7444万円(同6.7%増)です。十勝中部広域水道企業団からの水道水の購入費の減少などにより、収益的収支は8億1949万円(同3.5%増)の黒字となりました。今後の借入金返済や施設の更新などに使用する予定です。

なお、令和3年1月1日検針分より水道料金を改定しました。

水道施設や水道管を整備するための収支

資本的収支における収入は4億7890万円(同67.8%減)、支出は26億3102万円(同26.7%減)で、施設更新工事の減少などにより、収入支出ともに前年度比の大幅な減少となりました。収入の不足は、新しい施設をつくるために備えていた財源で補っていました。

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めて
きれいにするための収支

収益的収支における収入は51億4207万円(前年度比2.6%増)、支出は44億3479万円(同2.9%増)で、借入金利息の減少などにより、収益的収支は7億728万円(同0.4%増)の黒字となりました。今後の借入金の返済や施設の更新などに使用する予定です。

終末処理場や下水道管を整備するための収支

資本的収支における収入は9億3537万円(同4.9%減)、支出は27億6001万円(同5.9%増)



帯広川下水終末処理場

減)で、収入の不足は新しい施設を作るために備えていた財源で補っていました。

農村地区上下水道事業との一元化について

これまで別々に管理していた農村地区の上下水道事業と、市街地の上下水道事業を令和2年度から統合し、一元的に維持管理を行っています。上記の収支額は、農村地区に係る収入や支出も合算した金額であるため、前年度比では例年以上の変動が生じています。

これからの水道・下水道

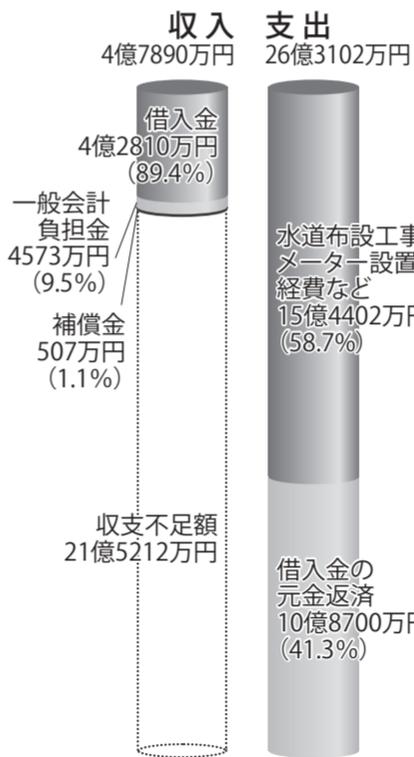
令和2年度の決算は、水道事業会計、下水道事業会計ともに黒字となり、健全経営を維持できました。

しかし、今後は人口が減少し使用水量の減少が見込まれるほか、多くの老朽化した施設などの更新が必要となります。

健全な経営の下、生活に必要な不可欠な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ち計画的な施設などの更新や、災害に強い施設づくりなどを行っていきます。

水道施設や水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支



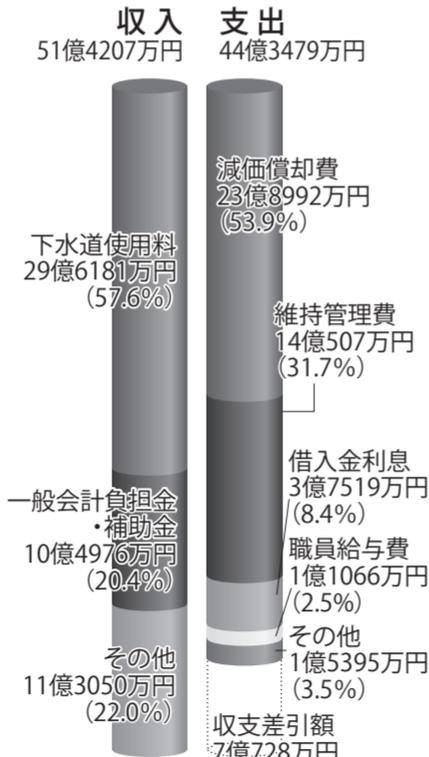
稲田浄水場

水道事業会計の
主な取り組み

▼水道料金の減額改定▼新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新▼稲田浄水場の設備機器の更新(令和2、3年度)▼災害などに備えた備蓄資器材の充実など

汚れた水を集めてきれいにするための収入と支出

収益的収支

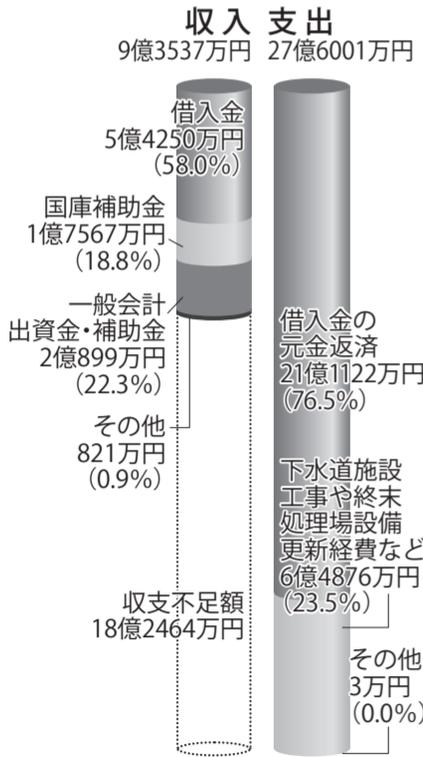


雨水管整備

下水道事業会計の
主な取り組み

終末処理場や下水道管を整備、更新するための収入と支出

資本的収支



▼新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新▼十勝川流域下水道事業への汚水処理統合に向けた帯広川下水終末処理場の施設改修▼浸水被害があった地域を優先した雨水管整備▼合併処理浄化槽の設置など

水道事業会計・下水道事業会計の収支は消費税を含みます。

上下水道料金のお支払いは口座振替で 上下水道料金の支払いは、自動的に引き落とされることで支払い忘れがない口座振替が便利です。詳細は問い合わせください。 ☎ 上下水道部料金課 (市庁舎水道棟1階、☎65・4213)